

つるはしえきしゅうへん やきにくてん おお まちな  
**18. 鶴橋駅周辺の焼肉店の多い街並み**



- **所在地** 大阪市天王寺区下味原町 1 番～5 番
- **登録年月日** 平成 26 年 3 月 20 日
- **概要** 天王寺区には鶴橋西商店街があり、ここ数年で焼き肉店が増えたことから“焼肉スクウェア”と呼ばれている。この商店街の風景は、焼肉店やキムチなどの食材を扱う店などが建ち並び、焼き肉の香ばしいかおりやキムチなどの独特なかおりが広範囲にわたって漂っていることから、環境省のかおり 100 選に選ばれている。

りょうごんじ  
**19. 楞嚴寺**



- **所在地** 大阪市天王寺区城南寺町 1 番 26 号
- **登録年月日** 平成 26 年 3 月 20 日
- **概要** 慶長 2 年(1597 年)僧禅牛の開創である。楞嚴寺には織田作の名で生まれ、『夫婦善哉』のように大阪を舞台として、市井に生きる人びとをいきいきと描いた作品を数多く残した「織田作之助」の墓所がある。

そうほん けつりがね や  
**20. 總本家釣鐘屋**



- **所在地** 大阪市天王寺区大道 1 丁目 5 番 2 号
- **登録年月日** 平成 26 年 3 月 20 日
- **概要** 明治 33 年(1900 年)、地元の有志から四天王寺に大梵鐘が奉納され、大阪商人の心意気を示す快拳として評判になった。その奉納記念として、釣鐘のかたちを模した饅頭を、四天王寺の門前で売り出したのが「釣鐘まんじゅう」のはじまりである。店舗の屋根につけられた鐘などレトロな外観が、100 年以上つづく店舗の歴史を感じさせる。

ちょうがんじ たけもときだゆう はか  
**21. 超願寺 (竹本義太夫の墓)**



- **所在地** 大阪市天王寺区大道 1 丁目 14 番 1 号
- **登録年月日** 平成 26 年 3 月 20 日
- **概要** 義太夫節浄瑠璃の元祖といわれ、慶安(けいあん)4 年(1651 年)この付近(堀越(ほりこし)神社南約 100m の路上に、生誕地碑)に生まれた。若いころから研究熱心で小唄・俗謡から物売りの呼声まで身につけ、将来に備えた。その後京・大坂で修業を積み、延宝(えんぼう)5 年(1677 年)に独立、作者に近松門左衛門を迎え、その他、三味線・人形の名手、経済面での協力者を得て「曾根崎心中」で大当たりをとった。お墓は、超願寺境内にあり、お堂の状態でも雨風から守られている。

## 22. 三光神社 さんこうじんじや



- **所在地** 大阪市天王寺区玉造本町 14 番 90 号
- **登録年月日** 平成 26 年 3 月 20 日
- **概要** 明治 41 年（1908 年）境内の全国唯一の中風除けの神、三光宮を合祀してより三光神社と呼ばれるようになった。毎年 6 月 1 日から 7 日まで中風祈願大祭が行われ、全国各地から多くの参拝者が訪れる。

古くから三光神社の地に真田の抜け穴の話が伝えられている。慶長 19 年（1614 年）の大坂の合戦の頃、真田幸村がこの地にえんげつ 城と名付ける塁を築き、大坂城まで通じる暗道を作ったと伝えられており、今も「真田の抜け穴」として保存されており、境内には昭和 62 年（1987 年）に建立された真田幸村の銅像がある。

## 23. 天王寺公園・天王寺動物園 てんのうじこうえん てんのうじどうぶつえん



- **所在地** 大阪市天王寺区茶臼山町
- **登録年月日** 平成 26 年 3 月 20 日
- **概要** 明治 36 年（1903 年）の第 5 回内国勸業博覧会の跡地利用として東半分を公園にしたもので、明治 42 年（1909 年）に開設された長い歴史をもつ。平成 27 年（2015 年）に民間事業者により南東のエントランスエリアが「てんしば」としてリニューアルされ、約 7,000 m<sup>2</sup>の芝生広場を中心とした様々な施設が新たな魅力を創出している。

また、公園内には昭和 8 年（1933 年）に大阪府に寄贈された旧黒田藩蔵屋敷長屋門（大阪府有形文化財、大阪市顕彰史跡）や作品「めし」の一節を刻んだ林芙美子文学碑なども設置されている。

動物園に関しては、大正 4 年（1915 年）1 月に開園した。約 11ha の園内におよそ 200 種、1000 点の動物が飼育されており、動物の生息地の景観を可能な限り再現したうえで、そこに暮らす動物の様子を紹介する「生態的展示」が人気を博し、多くの利用者に賑わっている。

## 24. 慶沢園 けいたくえん



- **所在地** 大阪市天王寺区茶臼山町
- **登録年月日** 平成 26 年 3 月 20 日
- **概要** もと住友本邸の庭で、美術館の敷地とともに大阪市へ寄贈されたものであり、10 年余りの歳月を要して完成した純日本風の回遊式庭園である。明治 41 年（1908 年）、庭師小川治兵衛（おがわじへえ）が作り、伏見宮貞愛親王（ふしみのみやさだなるしんのう）が慶沢園と命名した。



ちやうすやま かわそこいけ わ け ばし  
25. 茶臼山・河底池・和気橋



- 所在地 大阪市天王寺区茶臼山町
- 登録年月日 平成 26 年 3 月 20 日
- 概要 大坂冬の陣で家康の本陣となり、夏の陣では幸村が布陣し激戦地となった茶臼山は、奈良時代に和気清麻呂（わけのきよまる）が河内川の流水を南に引こうとした河底池とともに、天王寺公園の風景に取り入れられている。  
和気橋は、延暦 7 年（788 年）和気清麻呂が旧大和川の流れを変えるために上町台地を開削した際、茶臼山古墳の濠を利用した名残が河底池であると伝えられていることから、「和気橋」と名付けられている。

ほりこしじんじゃ  
26. 堀越神社



- 所在地 大阪市天王寺区茶臼山町 1 番 8 号
- 登録年月日 平成 26 年 3 月 20 日
- 概要 聖徳太子が、叔父に当たる第 32 代崇峻天皇の徳を偲んで、四天王寺建立と同時に当社を創建したものである。  
古くより明治の中期まで、境内の南沿いに美しい堀があり、この堀を越えて参詣したので、堀越という名が付けられたといわれている。  
境内にかえる石が蹲（つくばい）のすぐ横に高さ 50 cm ほど、三角錐の形で鎮座しており、無事帰る、福返ると伝えられている。

おおさか しりつびじゅつかん  
27. 大阪市立美術館



- 所在地 大阪市天王寺区茶臼山町 1 番 82 号
- 登録年月日 平成 26 年 3 月 20 日
- 概要 昭和 11 年（1936 年）5 月開館。美術館は天王寺公園の中に位置しているが、その敷地は住友家の本邸であったところで、美術館の建設を目的に庭園（慶沢園）とともに、大阪市に寄贈されたものである。美術館は設立当初の本館と、平成 4 年（1992 年）に美術館正面地下に新設した地下展示室からなり、本館陳列室では、特別展覧会や常設展示を開催している。